

発生土置き場の経過について

29. 1. 16 阿智村リニア対策委員会

発生土置き場については、平成 27 年 7 月 24 日リニア対策委員会より、県から示された 1 箇所候補地で協議するのではなく、候補地については村内全域から幅広く公募をするべきであると答申し、村、議会は協議の結果、平成 27 年 10 月 20 日に村長名で「村内発生土置き場（仮置き場含む）候補地の公募が行われました。

この時点では、村は発生土の受け入れを決めていませんでしたが、村内における候補地の希望状況を確認するため、村内に土地を持つ皆様に発生土置き場候補地を募集しています。

この時の文面では、「応募要件を満たす候補地は、土地所有者から関係書類（隣接土地所有者の同意書など）を提出いただき役場において確認後、社会環境アセスメント調査の結果を考慮し、自治会のご意見をお聞きする中で適当と認められる候補地を選定します。村で選定した候補地は、長野県を經由して JR 東海に情報が提供されますが、調査も含めて候補地となるかは最終的には JR 東海の判断によります。」としています。

ただし、公募の文書にも申請書にもこの応募によって候補地として選定、確定するものではないと明記してあります。公募は平成 27 年 11 月 30 日で締め切りましたが 8 箇所の応募がありました。

平成 27 年 12 月 25 日には、応募された皆様に対し、村長名で「現在、応募いただいた土地については、災害等の危険性や埋め立ての土量等について確認を行っているところです。今後は、希少猛禽類の飛翔確認調査や現況の確認のため現地へ立ち入らせていただく場合もありますのでご承知おき下さい。なお、現段階では候補地として正式に決まっておきませんので、しかるべき時点でまた連絡をさせていただきます。」と通知されています。

この希少猛禽類の飛翔確認調査については、調査の期間も長くかかることから JR 東海より正式な候補地ではなくても当社の責任で行いたいと申し出があり、村は正式なものではないということで情報提供を行いました。その後 1 箇所しか調査に入らなかったということもあり、行政の認識の甘さを指摘した所です。

また、候補地選定の一つの判断基準となる社会環境アセスメント調査が終了するまでは発生土置き場の件は先行させるべきではないという意向もあり、調査結果が報告された平成 28 年 2 月までは具体的に進んでいない状況にありました。

一方で JR 東海の説明からも菽の平斜坑までの工事専用道路の要望については一向に進展がみられていません。清内路地区の皆さんからすれば置き場の話が先行すれば現道の通行ありきの話が進むことを懸念されていました。

この進まない状況の中で対策委員会が村道 1-20 号の会の皆様と 28 年 3 月から懇談を

重ねる中で代替案として、工所用資機材の運搬と発生土の運搬を別に考える提案をしました。そのためには、住民生活影響軽減のために黒川上流域で土を置ける可能性を検討する調査が必要であり JR 東海に要望すべきであるというものです。

現在はこの提案は村に提言書という形で提出し、村でも 9 月 16 日に文書で正式に JR 東海に要望しています。

なお、この一連の経過については、広報おしらせ版を通じて住民の皆様へはお知らせされています。

今回の公募を進めるにあたっては、そもそも 1 箇所候補地をいいのか、悪いのかという検討では判断できないこと、また村道 1-20 号線通行ありきで発生土置き場の検討を進めないことを前提としています。

決して応募のあった箇所が白紙になったわけではありません。今は住民生活への影響軽減のために黒川上流域、村道 1-20 号沿線での発生土置き場の可能性の検討を優先している状況です。JR 東海の調査結果は平成 29 年 3 月頃には明らかになる予定です。この調査結果により、発生土をどこに置くことが出来るのか、上流域に全て置けない場合にどうするのか。ここで応募いただいた箇所も含めて再度検討する事になります。応募された皆様からすれば、1 年以上経過しており心配をおかけしていますが事情をご理解の上もうしばらくお待ちいただければと考えます。

【経過】

- 27. 6. 25 リニア対策委員会（以下、委員会）において県より発生土置き場提案
- 27. 7. 24 委員会から村に対し発生土置き場に関する答申書提出
- 27. 10. 20 発生土置き場の公募開始
- 27. 11. 30 公募申請締め切り
- 27. 12. 25 応募者へ通知発送
- 28. 2. 4 社会環境アセスメント調査結果報告
- 28. 3. 1 委員会幹事会と村道 1-20 号の会（以下、会）懇談。
- 28. 4. 1 委員会より会に対し村道 1-20 号についての提案
- 28. 6. 20 委員会提案に対する会からの回答
- 28. 7. 14 対策委員会から村へ村道 1-20 号についての提言書提出
- 28. 9. 16 村から JR 東海に対し村道 1-20 号についての要望書提出
- 28. 11. 22 黒川上流域、村道 1-20 号沿線埋め立て可能地検討調査開始
- 29. 3. 31 上記調査終了予定